

藻かけ



平成26年12月1日発行

へら研阪神クラブ会報

平成二十六年十二月号 No492

発行〒6660024 川西市久代1丁目5番42号

(株) クシロ内 へら研阪神クラブ

TEL 0727597023 FAX 072598615

Photo 柴田忠幸、稲森 豊、滝沢 享

編集 滝沢 享 稲森 豊、岡田寿夫、杉原武弘

十一月例会

滝沢 享

十一月九日(日)、岡山県の百間川に於いて、会員27名とオープン参加1名の参加を得て開催した。

午前6時30分、清内橋右岸下流の河川敷駐車場に集合。稲森会長の挨拶、郷田理事長よりオープン参加の三根嗣音さんが紹介されました。続いて競技方法の説明と前日の釣況報告があり、昨日より減水し上流はダメでオムロン前と右岸下流では釣れたとの事。

フリーでの入川で、前日釣れた右岸下流に多くの会員が入った。中川橋左岸下流とオムロン前に数名が入川した。

昨日釣れた下流はアタリも殆どなく我慢の釣り。一方、上流のオムロン前や中川橋左岸下流はモジリも活発にあり、特に中川橋左岸下流では数十枚の釣果だった。

午後4時、検寸終了。

下流右岸に入った郷田さんが38cm級を釣り優勝。2位の柴田さん、3位の田中さんも同所で良型を釣り入賞した。雨が終日降り、風もあり一部を除き釣果とともに寒い一日でした。釣果率57%。



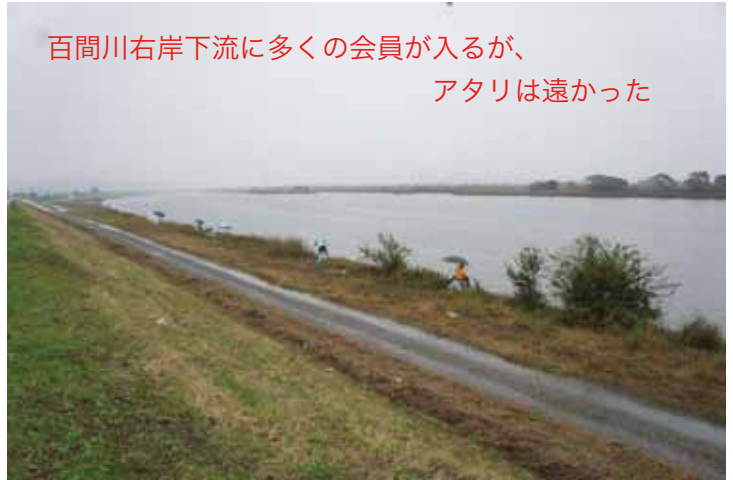
十一月例会成績表 (ヘラブナ二尾長寸)

| | | | |
|-----|-------|----------------|------|
| 優勝 | 郷田 満 | 75.5cm | 370点 |
| 2位 | 柴田 忠幸 | 73.8cm | 360点 |
| 3位 | 田中 秀雄 | 73.8cm | 350点 |
| 4位 | 大橋 充 | 73.5cm | 340点 |
| 5位 | 三根 嗣音 | 72.5cm(オープン参加) | |
| 6位 | 稲森 豊 | 72.4cm | 330点 |
| 7位 | 熊田 智文 | 70.9cm | 320点 |
| 8位 | 高木 勇作 | 70.1cm | 310点 |
| 9位 | 脇阪 博蔵 | 69.1cm | 300点 |
| 10位 | 田路 秀一 | 67.0cm | 290点 |
| 11位 | 栗原 天高 | 64.1cm | 280点 |
| 12位 | 元吉 茂司 | 63.0cm | 270点 |
| 13位 | 滝沢 享 | 60.2cm | 260点 |
| 14位 | 森田 定美 | 56.3cm | 250点 |
| 15位 | 川上大二郎 | 34.5cm | 240点 |
| 16位 | 杉山 健一 | 26.3cm | 230点 |

(以下参加点100点)

白井 良紀、岡田 寿夫、綱島 清一、
伊藤 規行、松下 英樹、北尾 博之、
山本 尚美、山本 勉、三木 修、
明石 徹、柴田美恵子、安藤紀久夫

百間川右岸下流に多くの会員が入るが、
アタリは遠かった



上流左岸で好調に釣れた熊田さんとオープン参加の
三根君



オープン参加の三根君
5位入賞



十一月例会風景

右岸下流の伊藤さん
アタリが殆どなかった



オムロン前にて、元吉さん



アタリはなくてもVサイン・岡田さん



雨も上がり表彰式が始まる



百間川は相性の良い釣り場です！



2位の柴田さん

優勝者 郷田 満

今年も十一月例会試釣釣班は、去年に引き続き稲森会長と私が担当で百間川へ。

去年も試釣で良く釣れたが、賛同を得られず千町川に決まってしまった。今年も、賛成多数で百間川に決まり、二年ぶりに相性の良い百間川での例会となった。

今回も前日からの試釣を兼ねて自宅を三時半に出発。往復の高速代節約の為、ひたすら下道を走り岡山へ向かう。

到着後、試釣で良く釣れた庄内川合流付近に行くと、試釣時より80cmほど急激に減水した跡があり底

が見える状況。

これでは釣りにならないので、比較的水深のある中川橋左岸下手の出っ張りや竿を出すことにする。

ここは濁りもあり数投でアタリが出て35cm級がたて続けに釣れた。昼からは、脇阪さん、元吉さんのいるオムロン前に移動。ここは水深が2m程あって、以前の例会でも40cm上が釣れた記憶があるので期待するが、尺一寸級を一枚釣るのに時間がかかった。

そんな中、漁港下流で釣りをしている北河内へら鮎研究会の藤塚さんより連絡が入り、型の良いへらが良く釣れている最中とのこと。

以前に短竿で良く釣れたのを思い出したが、明日のためにポイント確認をしてから宿泊先へ。

例会当日の天気は、一昨年と同じ一日中雨の予報。朝の諸行事を済ませて、漁港下流のポイントに照準を合わせて、いざ出陣。

ポイントに一番に着くと、先客が入っている。状況を聞くと昨夜からナイターをしていたとのこと。

この状況で食い気のあるへらが釣れるのか不安になってきた。出鼻を挫かれた思いで、先客者に断って20m程上手に釣座の準備にとり

かかると、この一帯には阪神クラブの会員が15名ほど並んでいる。

とにかく、他の人より早くエサを打ち、へらを寄せることに専念する。

直ぐに止めて帰った先客の後に川上さんが入ったが、まったくアタリが無いとのこと。

エサ打ち開始から2時間ほどが経過したころからサワリがあり、節のあるアタリで魚を掛けたが、ウキの上から道糸の高切れ。ウキ止メの摩擦キズがあった。もったいないことをした。

新しく仕掛けを作り直した後、また、一節入るアタリで38cmが釣れた。しばらくアタリが遠のいた後、十一時すぎに二枚目の37cmを釣り、とりあえずひと安心。

午後からの時合いを期待するが、冷たい雨のせいとかアタリが遠い。しばらくアタリが無いまま時間が過ぎ、雨も止みかけた2時すぎにアタリが開始した。続けて3枚を追加することが出来たがサイズアップにはつながらず、下手で苦戦していた柴田氏に場所を譲ることに。

柴田氏の釣りをしながら片付けていると、直ぐに私のへらを上回る38・3cmを釣り上げた。地合いに

最初に釣れた38cm



来か。続いて二枚目、三枚目を釣り上げ、わずか30分足らずで、権利を獲得し、さらにサイズアップを狙っている。

そのへんにしとかんと、柴(シバ)くで。と言いたいところですが、二枚長寸では上回っていないのと、釣果率アップになったので良しとしましょう。

集合場所へ到着すると、半数を超える会員さんに釣果があったものの、下流一帯は大勢の会員が入りすぎた影響か、大半の会員が坊主となっていました。

百間川は、特に相性が良く一昨年に引き続き優勝することが出来ました。

早いもので、今年も十二月例会を残すのみとなりました。最終の例会は、会員全員に釣果があり、一年を終ることを願っています。



十一月例会 百間川 上位入賞者の仕掛け、エサなど

| | 竿 | 道糸 | ハリス | ハリ | エサ | 釣り方 | 釣果 |
|------------|-----|------|------|----------------|---------------------------|--------------------|-----|
| 優勝 郷田 満 | 19尺 | 1.5号 | 0.8号 | 上 11号 下 11号 | 上 マッシュ、真底、藻べら 下 グルテンワン | 水深 1.3m 床 2 | 5枚 |
| 2位 柴田忠幸 | 19尺 | 1.5号 | 0.8号 | 上 10号 下 9号 | 上下とも 新べらグルテン、 いもグル、α21 | 水深 1.3m 床 | 3枚 |
| 3位 田中秀雄 | 13尺 | 1.5号 | 0.8号 | 上 7号 下 7号 | 上下とも 新べらグルテン | 水深 1.3m 床 10cm切 | 6枚 |
| 4位 大橋 充 | 19尺 | 1.5号 | 0.8号 | 上 12号 下 12号 | 上下とも 新べらグルテン、 わたグル | 水深 1.3m 床 10cm切 | 2枚 |
| 5位 三根嗣音 | 19尺 | 2号 | 1号 | 上 13号 下 9号 | 上 マッシュ、BBフラッシュ 下 わたグル | 水深 2m 宙 1m | 52枚 |